

令和元年度 第3回 玉城町地方創生会議・総合計画審議会

日時：令和2年3月26日（木）14:00～15:00

場所：町役場3階第1委員会室

1. あいさつ

2. 議題

【地方創生会議】

(1) 第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略最終案について【資料1, 2】

【審議会】

(2) 第5次玉城町総合計画の実績評価について【資料3, 4】

(3) 第6次玉城町総合計画基本構想（構成案）について【資料5】

(4) その他

【事前配布資料】

資料1：第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略最終案

【当日配布資料】

資料2：パブリックコメント意見等一覧表

資料3：第5次玉城町総合計画の実績評価シート

資料4：玉城町の特徴と課題のまとめ及び次期計画に向けた主要課題

資料5：第6次玉城町総合計画基本構想（構成案）

参考資料：第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版（案）

【議事録】

事務局：【開会、あいさつ】

町長：【あいさつ】

【地方創生会議】

(1) 第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略最終案について【資料1, 2】

事務局：【資料確認】【資料1, 2説明】

町長：ご意見をいただきたい。

委員（全員）：意見なし。

町長：特に意見がなかったので、本計画の案を了承いただいた。

今年度は計画策定があったので、地方創生会議を3回開催させていただいた。来年度は本計画の検証をするために1回開催させていただくので、今後ともご協力をよろしくお願いしたい。

【審議会】

(2) 第5次玉城町総合計画の実績評価について【資料3, 4】

会長：第3回を開催させていただく。ご協力をよろしくお願いしたい。

事務局：【資料3説明】

委員：障がい者福祉についての説明を再度お願いしたい。

事務局：主要課題は、玉城町の強みである「特徴」、弱みである「問題点・課題」を主として取り上げているが、玉城町が他の市町に比べてよい、悪いということではなく、全国的な課題として取り上げているものとして障がい者福祉のような課題もある。

委員：医療・福祉分野で、本町は要介護認定率が低いことが特徴として挙げられている。しかし、他市町に比べて介護保険料が高いと言われている。これはどのような理由からか。

事務局：認定率が低くても、一般的に介護保険料が高い場合は、重度の人が多いことが考えられる。次回までの宿題にさせていただきたい。

委員：「文化・スポーツ」の問題点・課題に「虐待、ハラスメント、差別等の人権問題が存在」とあるが、分野の分けはこの区分で問題がないのか。

虐待等の問題は解決しなければならない。虐待件数等のエビデンスを出してもらう必要がある。

事務局：分野については検討させていただく。バックデータについては、次回の会議では出させていただくよう準備する。

委員：安全について、危機管理対策として、今回のコロナウイルスのような状況は想定されているのか。玉城町としての備えを考えておく必要があるのか、無いのかを考えておかなければいけない。

事務局：危機管理対策として、感染症関係も含めて入れておく必要があると思う。

委員：町ではマスクの備蓄はあるのか。また、それを町民に配布することは可能か。

事務局：新型インフルエンザ対応の時に準備したマスクがある。N95と言われる、呼吸が苦しくなるほど性能の高いマスクがある。

委員：備蓄しているマスクを町民に配布する基準はあるのか。

事務局：町ではマスクも防護服も備蓄はしているが、町民に配布するほどの数を準備しているわけではない。非常時に町職員が検査する場合に使うことを想定しているが、それでも十分ではない。このような事態を想定して準備しているわけではなかった。

委員：今後は町だけが非常用の物資を準備するのではなく、自治会も一緒に準備していく必要がある。防災組織を作ったら、備蓄物資もあるというインセンティブを設けてもよい。今はチャンスかもしれない。

委員：住民アンケートの結果が十分に反映されているのかどうか。

例えば、都市基盤・環境で元気バスの住民満足度が上昇とあるが、交通の利便性が悪いという意見があった。関係性がわかりにくい。

今後、課題と対応策を考える必要がある。行政をやっている中で職員が気づいている部分もある。来年度の計画の中できちんと考えてほしい。

委員：目標値に対して、半分も達成できていない。半分以下、0件というものもある。

予算立てをされていてもできていないのか、そもそもできない状況にあるのかを見ていくことも重要である。

事務局：実際には手を付けられていないものもある。事業を行ったが、目標値があがらないものもあった。中には検討違いの事業を行っていたというものもあるかもしれない。違う手段を持って対策を立てられるようにしていきたい。

委員：総合計画は今後も見直しを行うのか。見直しを行うならば、数値目標としたものが2～3年事業が動かなかつたら数値目標自体を変えたほうが良いと思う。

事務局：総合戦略は毎年検証して、必要に応じて目標数値を変えることをしている。

事務局：総合計画の下には実施計画がある。実施計画は3年ごとのローリングで、毎年進捗管理をしている。そのなかで評価が悪いものは対応策を行っている。

その結果、事業に手を付けず0というものもあれば、行動はしているが、数字として挙がってこなかったというものもある。

事務局：目標数値については、現行計画の成果指標であり、今後策定する新規計画では、目標数値を新たに設定しなおすものである。

委員：現状から上げるものが、一つの指標だけ評価することは難しいと思う。もう少しわかりやすい評価があってもよいのかと思う。理由が、レベルがわかる設定をしたほうがよい。数字だけではなく、どういうことをしてその結果になっているかわかるとよい。

会長：数値だけで、達成・未達成の評価するのはどうかと思う。

事務局：現在、各課で指標の中の事業についての評価を行っている。次回にはお見せできる準備をしている。

(5) 第6次玉城町総合計画基本構想（構成案）について【資料5】

事務局：将来像は使い続けていきたい。という町長の意向がある。

【資料5説明】

会長：確認です。将来像は踏襲していきたいということ、基本目標の5本柱は変わりうるということ承知おきください。

事務局：住民の皆さんに身近に思ってもらえるような柱を立てていきたい。ご意見をいただきたい。

委員：基本目標の柱の1本を伸ばして、「子育てするなら玉城町」といった興味を増やすような、わかりやすさを出してもよい。

資料にある将来像から説明が読み取れない。

基本目標の柱の数を減らしてもよい。

会長：町民に浸透させるためには、特徴を出して押していくということは良いと思う。伝えやすさは大事である。

委員：どこに向かって提示するのか。町民に対してわかりやすさを表すのか、行政職員のバイブルにするのか、どこに軸足をおくのかで変わる。

事務局：いろいろな議論をしている。どこにすればよいのかと悩んでいる。

委員：それはどこの市町でも悩んでいる。置かれている立場が違うとできることが異なる。

それをどのようにするのが総合計画である。総合計画はもれがないように策定する必

要がある。そのうえで、何が売りをわかりやすく伝える必要がある。各市町で工夫はされている。実際に実行していくことは必要である。

総合戦略と総合計画は、策定年度が異なる。総合戦略は策定期間が短かったため、内容が弱いと思う。今後総合計画は、令和2年度にがつつり議論されると思う。

総合戦略をローリングで見直していくことも重要だと思う。総合計画のアクションプランとしてもよい。

総合計画が上位計画としてあって、総合戦略をアクションプランとして意識しながら、どこに注力してもらうかが重要である。

会長：総合計画にはもれなく載せなきゃいけないこと、住民に対してはわかりやすく見せ方を工夫することの2つあると思う。

委員：将来像、将来目標が決まった場合に、広報に必ず目に触れるように掲載されるとよい。

住民に根付かせることの一つに使えばよい。

事務局：SDGsのイメージですね。総合計画はしっかり議論して作っていきたいと思います。

会長：終了させていただきます。ありがとうございました。